

山本農業実行組合（滋賀県長浜市）

組織の概要

- 長浜市湖北町山本地区内の農家で構成される集落組織。
- 構成 19経営体（うち法人：6法人）、農地面積：122ha。
- 生産調整や環境保全を目的に設立。
- ブロックローテーションの調整の役割を担っているほか、水路の清掃など環境保全活動を実施。

生産概要

- 【作付面積】主食用米：約71ha、麦類（六条大麦、小麦）：約51ha、大豆：約42ha（R2）
- 3年4作のブロックローテーション（水稻→水稻→麦類→大豆）
- 基盤整備事業（H14～H18）：経営体育成基盤整備事業により用水路整備。

取組のポイント

湿害対策を考慮した団地化の取組と作業の効率化・省力化の徹底

<営農技術の導入>

- 湿害を軽減し、生産性向上を図るため、弾丸暗渠の施工およびカッターブレーカーによる幅広型心土破碎による排水対策を実施。
- 生産性向上に向け、ほ場の団地化により作業効率の向上を目指す。
- ほ場の団地化により共同防除の作業効率を高め、労働時間の削減を図る。



排水マスと排水パイプの埋設

<需要に応じた生産>

- 豆乳、豆腐への加工に優れた特性を持ち、耐倒伏性・難裂莢性を有し、実需者からのニーズもある大豆「里のほほえみ」への品種転換を進め、単収向上を目指す。

<土づくりの推進>

- ほ場の土壌分析結果に基づき、土壌改良資材を効率的に施用し、生産性向上を図る。

取組成果

<団地化率の向上、労働時間の削減、単収の増加>

■ 六条大麦

団地化率：73%（R2）→ **86%（R3）** → 88%（R6目標）

労働時間：7.6hr（R2）→ **4.2hr（R3）** → 6.4hr（R6目標）

（参考）作付面積：51ha（R2）→ 50ha（R3）

■ 大豆

団地化率：81%（R2）→ **90%（R3）** → 96%（R5目標）

単収：120kg/10a（R2）→ **130kg/10a（R3）**
→ 144kg/10a（R5目標）

（参考）作付面積：42ha（R2）→ 48ha（R3）

